

スマホを使って不安を解消

公共交通はスマホ1つで利用できる

今やスマホひとつで暮らしの多くが便利になり、外出もスムーズになりました。

それは公共交通も同じです。

ここ数年で坂出エリアの公共交通は急速にデジタル化し、行き先の検索、バスの現在地や遅れの確認、運賃の支払いまでをスマホひとつで完結できます。

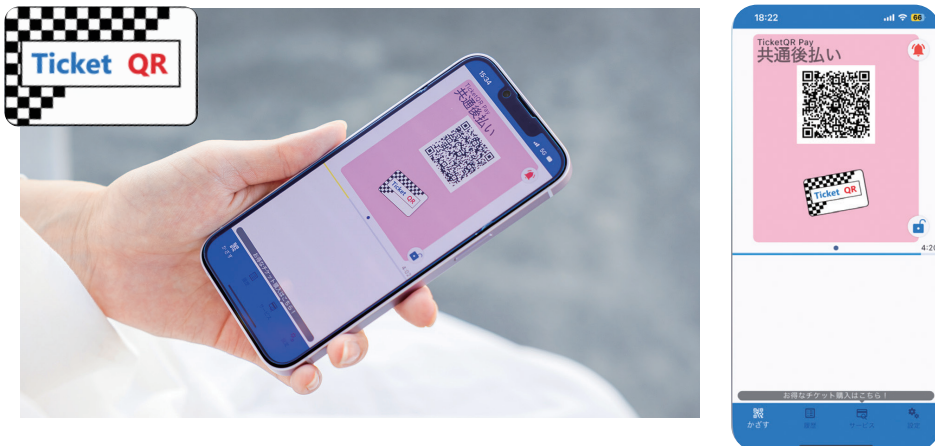
以前は時刻表や路線図を手にし、バス停で不安に待ち、小銭を探して支払うのが当たり前でした。

今はそんな煩わしさや不安を軽減し、安心して利用できる仕組みが備わっています。

スマホツールを使いこなすことで、「意外と便利」な公共交通を体感することができます。

TicketQR

小銭いらずで、さらにお得！
キャッシュレスで支払い



バスの乗り降りは、アプリのQRコードをかざすだけで完了します。
運賃の確認や小銭の準備も不要で、便利かつスムーズに利用できます。
支払いはクレジットカードや連携したQRコード決済アプリから行われるため、財布を出す手間もありません。
さらに、坂出市民がマイナンバーカードを連携すると「市民割」が適用され、毎回の運賃が100円引きになります。
このマイナンバーカード連携による市民割は全国でも珍しく、注目を集めている取り組みです。
加えて、TicketQRを提示することでバスやデマンドタクシーが無料になる「TicketQRで公共交通無料デー」も不定期に開催されています。スマホの利用に不安がある方にはプリペイドチケットも用意されており、誰でも安心して利用できる仕組みが整っています。

ご利用ステップ

1. アプリをダウンロード
2. 支払い手段を登録
3. 乗降時にQRをかざす

詳しくは
こちら



※支払い手段によっては降車後に精算手続きが必要です。 ※バス定期券も購入できます。

バスきよん？

「あと何分？」「今どこ？」
バスの現在地をスマホで確認



スマホアプリやWebブラウザを使えば、地図上でバスの現在地や遅れ、混雑の状況をリアルタイムに確認できます。時刻表や経路検索もでき、荒天時の運休情報も反映されるため安心です。
これにより「いつ来るの？」「どれだけ待つのか」といった不安が解消され、限られた便数も見逃さずに利用できます。さらに、あと何分で到着するかが分かれば、トイレに寄ってから、コーヒーを買ってからバス停に向かうこともでき、待ち時間を有意義に使えるようになります。

詳しくは
こちら



Googleマップやジョルダンを使えば、
バスの時刻・経路は一発でわかる

実は
バスで
行けます

時刻表や路線図を持っていなくても、スマホで検索すれば現在地から目的地までの公共交通での行き方が瞬時にわかります。いつも家族を送迎しているあの場所や、お酒を飲むのをあきらめて車で行き来していたあの場所へ、公共交通を使って行けるかもしれません。できれば運転したくないという機会があれば、ぜひ経路検索サービスを活用してみてください。

タクシーアプリ『GO』

タクシーを呼べるアプリ



タクシーを呼ぶには、以前は近くの会社の電話番号を調べ、迎えに来てほしい場所や目的地を伝え、到着を待つという手間が必要でした。
「GO」アプリなら、アプリの地図上で迎え場所と目的地を入力するだけで、タクシーを呼ぶことができます。さらに、タクシーの到着までの目安時間や目的地までの所要時間に加え、運賃のおおよそ金額まで事前に確認可能のため、タクシーを呼ぶか、呼ばないかの判断材料にもできます。
支払いもキャッシュレス対応でスムーズ。電話が苦手な方や最寄りのタクシー会社を知らない方でも、安心して利用できる仕組みです。

アプリの
ダウンロードは
こちら



スマえき

JRもきっぷいらずでスマホで乗車



JR四国チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」、略して「スマえき」。アプリをダウンロードすれば、きっぷの購入は「いつでも・どこでも」「キャッシュレス」で完結します。購入したきっぷはアプリ画面を提示するだけで乗車でき、紙のきっぷを買う手間も不要です。
さらに、定期券の購入やアプリ限定のおトクなきっぷも販売されており、日常利用から旅行まで便利に活用できます。

詳しくは
こちら



坂出市

政策部政策課 坂出市室町二丁目3番5号 TEL:0877-44-5001

坂出エリアの路線バス会社

琴参バス株式会社 坂出営業所 坂出市昭和町2-611-83 TEL.0877-46-2213
【本社】丸亀市土器町北2-77 TEL.0877-22-9191

坂出市内のタクシー会社

スミレタクシー株式会社
四国タクシー株式会社
琴参タクシー株式会社
有限会社大和タクシー
有限会社サンヨータクシー
有限会社府中タクシー

坂出市築港町1-8-54
坂出市築港町1-8-54
坂出市築港町1-8-54
坂出市富士見町2-5-3
坂出市本町1-6-3-101
坂出市入船町1-1-8-101

TEL.0877-44-2000
TEL.0877-46-4567
TEL.0877-59-1200
TEL.0877-46-0033
TEL.0877-46-1010
TEL.0877-48-1222

FunMo.

SAKAIDE MOBILITY



バスの窓から広がる景色に、

日常を越える余白。



CONTENTS

バスの運行を支える人々	1p
瀬戸大橋線特集	2p
オススの利用例	3-4p
坂出エリアの公共交通	5p
公共交通が地域にもたらすメリット	6p
安心して乗れるスマホツール	7p

モデル:坂出かけはし大使 榎松 桃加さん

発行 坂出市地域公共交通活性化協議会(2025年10月)

バスを動かす舞台裏、 公共交通を支える力



運転手へのインタビュー

なぜ運転手になったのか？ スクールバスの記憶から始まった、運転席への道。

幼少期から乗り物への関心が強く、小学校はスクールバス通学でした。中学・高校は自転車通学で一時バスから離れたましたが、大学では神戸～東京の長距離移動などでバス旅を楽しみ、車内で眠る心地よさにも魅力を感じていました。就職先は早くから地元と定め、居心地の良さを理由に選択しています。地元バス会社に就職して、実際にバスを運転してみると、乗用車と異なり車体の幅・長さが大きく、操作の難度は上がりますが、その特性を理解した運転に楽しさを見いだしています。高い目線を活かしつつ、安全第一でミラーを使って乗客の状況を常時確認。初乗務では不安もありましたが、総じて手応えと楽しさが勝り、地域の移動を支える意欲を高めています。

仕事へのやりがい 無事故で終える1日に得られる達成感。

仕事を終えて自宅に戻ったとき、1日を無事故で終えられたことに大きな達成感を感じています。事故がなく安全に運行できたという事実が、その日の安心感につながっています。また、乗客から感謝の言葉をかけられることは、直接的にやりがいを感じる瞬間のひとつです。日々の業務の中では、常連のお客様の顔を覚え、乗降や案内がスムーズにできるようになることも励みとなっています。顔なじみの利用者がいないと「今日はどうしたのだろうか」と気にかけることもあり、地域に根ざした運行ならではの人のつながりを感じる場面です。安全に運転をやり遂げ、乗客に安心と快適を届けること。そして、日常的なやり取りの中で感謝や信頼を得られることが、バス運転手としてのやりがいを支えています。



Interviewer
ドライバー・横関 拓人さん

安全と安心を届ける、運転手の一日

【バスの以外での業務】

朝の車両点検

ナットの緩み、エンジンオイルの量、ファンベルトの張り具合などをつつひと確認。この点検を怠ると、車両トラブルやリスクにつながるため、丁寧さが欠かせません。お客様を安全に目的地まで送り届けるための第一歩であり、運転手にとって最も基本で重要な仕事です。



運行の合間(車両清掃や休憩)

勤務時間に車両の清掃もドライバーが入念に行います。お客様に心地よく乗っていただけるよう心がけます。また、運行の合間には長めの休憩が複数回あり、食事や買い物などで気分をリフレッシュしながら有意義に過ごしています。こうした時間が次の運行への集中力を支えます。



終業後の点検と報告

1日の運行を終えたと燃料を補給してから車庫に車両を戻し、車内を清掃します。その後は日報を作成し、運行状況や注意点を記録。運賃は金庫に納め、管理します。遅い時間の担当では20:30頃に事務所へ戻ることもあり、最後まで責任を持って業務を完結させることが欠かせません。



【バスの中での業務】

始発のバスに乗務

点呼を受けて運行を開始。バスは1日120～130kmを走行します。運転席には次の停留所が表示され、正確なルート把握に役立ちます。同名のバス停もありますが、運転手は教習と経験でミスを防ぎ、安全で時間通りの運行を実現しています。また、瀬戸大橋線では新聞を島へ届ける役割も担っています。



お昼の運行

運行中にはお客様とのやり取りもあります。かつて「頑張りなよ」とジュースを頂いたことは今も印象に残っています。降車時に「ありがとう」と声をかけられることも多く、その一言が日々の励みになります。この経験は、自身の仕事が地域の暮らしを支えている実感や、やりがいにつながっています。



この日最後の運行

夕方は仕事帰りや学校帰りのお客様が多く、車内は混雑します。道路も渋滞しますが、あらかじめ時刻表に反映されているため、大きな遅れにはつながりません。運転手は停留所にお客様がいるかを早めに確認し、停車が通過かを判断することで無駄を減らし、定刻運行と安全確保を両立しています。



※乗車する路線や時刻など勤務スケジュールは一定ではありません

運転手以外の見えない役割と努力



整備士・村松 英一さん

整備士は約100台の車両を対象に、3か月ごとの定期点検を軸に日々作業を行います。毎月30台ほどを点検し、コム類の劣化、バッテリーやオイルの減少、照明類の確認まで細かくチェックします。不具合があれば迅速に修理や交換を行います。突発的な破損や異常にも即応できる体制を整え、3人のスタッフが連携して一つの見落としも許さない姿勢で確認を重ねています。正確さを最優先にすることで、不具合の早期発見と事故防止を実現。乗客が安全で快適に利用できる環境を守り、運転手が安心してハンドルを握れるよう支えています。



運行管理者・高崎 英典さん

運行管理者は、バスの走行状況を確認し、遅れや時間的な問題がないかを常に把握しています。あわせて乗務員の体調やアルコールチェックを行い、事故やクレームなどのトラブルにも即対応します。無線で寄せられる情報を判断材料にすることが多く、勤務中は緊張感を持ち続けことが欠かせません。トラブルを最小限に抑えるためには、乗務員同士の情報共有が重要であり、管理者自身も定期的に現場に足を運び、状況を直接確認します。机上だけでは得られない感覚をつかみ、判断や改善につなげることで、安全で安定した運行を支えています。



観光部・平賀 美咲さん

路線バス以外のバスを使った社員旅行や学校の遠足など、団体利用を支えているのが観光部です。宿泊施設や食事場所の手配に加え、行き先の提案やコース作成も担当し、必要に応じて添乗員として同行します。お客様の年齢層や雰囲気に合わせて、アクティブな体験や文化的なプログラムなど最適な内容を提案します。観光地で感動する姿や笑顔に触れることは大きなやりがいであり、バスでの移動時間も快適に過ごしていただけるよう、案内や情報提供を丁寧に行っています。



総務部・渡邊 和樹さん

日常業務で発生する経費を整理し、書類やリストをまとめる。総務部の仕事は、こうした経費処理を中心に成り立っています。運転手の宿泊・食事費用や日用品の手配も担い、支出の妥当性を確認することも欠かせません。さらに、社員が快適に働けるような環境を整えることも重要な役割です。意見を聞きながらサポートし、ストレスのない状態で業務ができるよう注力しています。安全運行の基盤を陰から守るため、資格取得をはじめとした日々の学びを続け、事業の安定を支えています。

バスで渡る瀬戸大橋、 島に降り立つ特別な体験

路線バスといえば、通勤・通学・通院・買い物といった生活感あふれるイメージがあるのではないのでしょうか？でも、それだけではありません。

ここで紹介する路線バス瀬戸大橋線は、乗っているだけでも「非日常」、

バスを降りればもっと「非日常」を体験できます。

自動車で立ち寄ることのできない「バスでしか行けない島」の与島、岩黒島、櫃石島。

瀬戸大橋を渡ればすぐの場所にあるけど、自動車で瀬戸大橋を渡って

行くには少しハードルが高い倉敷市児島。路線バス瀬戸大橋線に乗れば、

近いのに意外と知らなかった魅力的なスポットがたくさんあります。

1日5便(休日は4便)だけの運行ですが、工夫して乗れば楽しみ方はいろいろ。

バス停で島に降りるもよし、車窓の景色を楽しみながら児島まで行くのもよし。

そんな路線バス瀬戸大橋線は、島に住む人にとっては、唯一の公共交通手段。

生活に欠かせない路線バスも、少ない島の人口だけで運行を維持していくことは困難な路線でもあります。

みなさんに利用いただくことは、島に住む人の生活を支えることにもつながります。



坂出駅から瀬戸大橋をわたって、最初に向かうのは与島。与島PAから島の中まで運行し、車窓からは「瀬戸内海の島」の景色を満喫できます。「浦城」バス停から少し歩けば、重要文化財の鍋島灯台にも行くことができます。坂出に住んでいると、瀬戸大橋を通っても通過してしまいがちな与島PAで食事なども楽しめますよ。



2番目の島は岩黒島。なんと瀬戸大橋の上にバス停があり、島へはエレベーターで降りられます。瀬戸大橋の上に降り立つ体験ができるのは、ここだけ！気になるグルグルのループ橋は、児島駅から出発する便のうち、1日2便だけがバスで降りられます。コンパクトな島で散策しやすく、島の中には、きれいな砂浜(黒浜)や民宿もあります。



瀬戸大橋を渡りきると児島エリア。児島エリアを運行する下電バスと組み合わせると、行動範囲も広がります。下津井地区からは、坂出から見るのとは違った瀬戸内海を望むことができ、児島市街地を歩けば、ジーンズショップや雑貨店、飲食店が並んでいます。歴史と新しい文化が織りなす景色は、散策するだけでも楽しいこと間違いなし！JRなら坂出駅から児島駅まで15分ほどなので、行きはバスで、帰りはJRでといった行き来も可能です。



3番目の島は櫃石島。島の中で運行し、島の北端からは岡山県がすぐそこに見え、南側には歩いて渡れる島「歩渡島(ぶとじま)」があります。児島方面からは、たくさん釣客も訪れる人気のスポットです。「櫃石」バス停で降り、路地を抜けて少し山を登ると、歴史ある王子神社や瀬戸大橋を通る電車ビュースポットも。いろんな趣味の人に刺さりそうな島です。

映像で見る、路線バスで 巡る3つの島の旅

瀬戸大橋線で立ち寄れる与島・岩黒島・櫃石島を、実際に巡る様子を紹介する動画です。車では入れない島々をバスでつなぎ、橋の下に広がる風景をリアルに体験できます。1日で3つの島をめぐる旅の流れ、現地の見どころ、アクセスの仕組みなどをわかりやすく紹介。

映像は
こちらから



あなたも使える？ オススメの利用例

公共交通って本当に使えるの？使い方を知っていれば、意外と便利に、

実は楽しく、しかもお得に、日常生活でも、余暇でも、使うことができるかもしれません。例えば、こんな使い方もできますよ。

通学に

Profile 雨日 登子 (アメノ ヒトコ)

- 昭和町在住／17歳女性／高校生
- 普段は自転車通勤



いつも雨が降るとお父さんに車で送迎してもらってんだけど、今日はバスで行ってみよう。

7:55 循環バス東ルート「坂江橋」バス停乗車

循環バス (市民割で100円) (通常運賃なら大人200円)

8:15 「坂出駅」バス停到着

坂出駅から友達と話しながら登校。

徒歩 10分



8:25 高校到着



自転車と違って疲れてないから学校でも勉強に集中できる！

16:00 下校

16:10 友達とファミレス



宿題したり、会話したりで大盛り上がり！

17:25 王越線 (林田循環) 「坂出駅前」バス停乗車

王越線 林田循環 (市民割で100円) (通常運賃なら大人200円)

17:31 王越線 (林田循環) 「坂江橋」バス停下車

いつもと違うバス登下校は新鮮で楽しかった！



大人通常運賃 400円 坂出市民割なら 200円

200円
お得！

ポイント

- 雨の日は髪の毛が乱れるから自転車に乗りたくない。
- 保護者に送迎してもらわず、公共交通を使えば親孝行。
- 私の家の近くなら、循環バス東ルートと王越線が使える。
- バスでイオンモール綾川にも行けるんだ！週末友達と行ってみよう！

※バス等は道路状況によって時刻表より遅れることもあります。時刻表の乗り換え時間に余裕がないときは、事前に運転手にお申し出ください。 ※このモデルルートは、2025年10月1日現在の時刻表をもとに作成しています。 ※デマンドタクシーは、予約状況によって出発・到着時間が前後します。

利用例にある お得な坂出の 公共交通活用方法

TicketQR市民割、TicketQRで公共交通無料デー

スマートフォンにアプリをインストールして登録すれば、誰でも利用可能。坂出市民がアプリのマイナバーカード連携による認証を行うと、乗車するたびに、運賃が100円引き！さらに、対象日に「TicketQR」を使って坂出エリアの路線バスやデマンドタクシーを利用すると、運賃が無料になります。TicketQR詳細はP7をチェック。

通院、買い物、趣味に

Profile 出窓 乗代 (デマンド ノルヨ)

- 府中町在住／75歳女性
- デマンドタクシー利用を極めたプロライダー
- 70歳で運転免許返納後も積極的に移動



今日は病院を予約している日！ついでに買い物や趣味もこなしちゃおう。

7日前から当日9:00 (1時間前) までにデマンドタクシー予約

10:00 自宅近くの乗降場所「府中小学校前」でデマンド乗車

デマンドタクシー (免許返納者割引+市民割で150円) (通常運賃なら大人400円)

10:30 デマンドタクシー「坂出市立病院」乗降場所下車 坂出市立病院で診察

徒歩 5分

11:50 しんすい園でお昼ご飯

昔からよく来ているしんすい園。今日は食後のソフトクリームも！



どこを走っているかが常にお客から心配なくバスを待てる。

12:39 循環バス東ルート「港町」バス停乗車

(バスきよん？で遅れをチェック)

循環バス乗車 (免許返納者割引+市民割で150円) (通常運賃なら大人200円)

12:56 循環バス東ルート「坂出警察署」到着

徒歩すぐマルナカ坂出店内のスポーツクラブで運動 (休憩しながら2時間30分)

マルナカで買い物 (30分)

16:10 デマンドタクシー「マルナカ坂出店」乗降場所デマンド乗車

帰日もデマンドタクシーだから買いすぎても安心。



デマンド移動 (免許返納者割引+市民割で150円) (通常運賃なら大人400円)

16:30 自宅付近の「府中小学校」乗降場所デマンド下車

大人通常運賃 1,000円 免許返納+坂出市民割なら 350円

650円
お得！

ポイント

- デマンドタクシーは出発目安時間の設定があり、時刻表の1時間前までの予約で利用できる。(予約が1人でも運行) 予約があった便のみ運行し、予約があった乗降場所のみ立ち寄るから乗降場所がいっぱい！
- 複数人の予約があった場合には複数の乗降場所に立ち寄るため、出発時間が前後するので注意して乗っています。

通院+娯楽に

Profile 何時 飲兵衛 (イツモ ノンベエ)

- 王越町在住／62歳男性
- お酒が大好き



検査のため、しばらくお酒を控えていたけど今日こそは昼間から飲みたい。

8:50 自宅近くの王越線「木沢」バス停乗車

王越線 (1日フリー乗車券1,500円) (通常運賃なら大人600円)

今日は何度もバスに乗るから1日フリー券。

9:23 王越線「回生病院前」バス停下車 回生病院で検査



お酒は好きだけど健康第一。

11:34 循環バス西ルート「回生病院」バス停乗車

循環バス西ルート (通常運賃なら大人200円)

11:42 循環バス西ルート「西大浜北」バス停下車

徒歩すぐの癒しの里さらいでお風呂とお酒を満喫

バスだから飲酒も大丈夫！温泉も最高！有意義な1ラックスタイムです。



14:42 循環バス西ルート「西大浜北」バス停乗車

循環バス西ルート (通常運賃なら大人300円)

14:53 循環バス西ルート「マルナカスーパーセンター宇多津店」下車

飲み足りないので自宅での晩酌用にお酒を購入



夕方からは家でTVを見ながら晩酌。おつまみとお酒をたくさん買って帰る。

15:53 循環バス西ルート「マルナカスーパーセンター宇多津店」乗車

循環バス西ルート (通常運賃なら大人300円)

16:15 循環バス西ルート「坂出駅」下車 乗り換え

王越線「坂出駅前」乗車 王越線 (通常運賃なら大人600円)

16:55 王越線「木沢」バス停下車

大人通常運賃 2,000円 1日フリー乗車券なら 1,500円

500円
お得！

ポイント

- 公共交通なら昼間からお酒を飲んで帰って嬉しい。
- 1日フリー乗車券なら乗り放題で1,500円。(通常運賃なら2,000円だった) 乗れば乗るほどお得！ (中心部エリア乗り放題の中心部エリア1日フリー乗車券は500円で販売) ※1日フリー乗車券はデマンドタクシーでは使えません。

家族で遊びに

Profile 乗道 (ノリミチ) ファミリー

- 小山町在住/41歳夫婦、子ども7才
- 普段は自動車でおでかけ



今日は子どもにバスで遊びに行きたいとせがまれた。TicketQRを見せれば無料らしい。

7日前から当日10:00 (1時間前) までにデマンドタクシー予約

11:00 自宅近くの乗降場所「小山町自治会館」でデマンド乗車

デマンドタクシー乗車 (大人200円、小人100円)



デマンドタクシーは予約して利用！

11:20 デマンドタクシー「坂出駅」乗降場所下車 乗り換え

11:35 瀬居線「坂出駅前」乗車 瀬居線 (大人400円、小人200円)

11:53 瀬居線「東山魁夷せとうち美術館(瀬戸大橋記念公園)」下車

サンシャインピクニックデイズでお昼ご飯



ランチだけでなく、カフェで軽食にも適した場所！

瀬戸大橋記念公園で子どもと遊ぶ

遊具があるから息子もしっかり楽しめた。展望台からの景色も最高！



15:24 瀬居線「東山魁夷せとうち美術館(瀬戸大橋記念公園)」で乗車

瀬居線 (大人400円、小人200円)

スムーズな乗り換えて快適。たくさんバスに乗れて息子も大喜びの1日。

15:40 瀬居線「港町」下車 乗り換え

15:43 島田岡田線「港町」乗車 島田岡田線 (大人300円、小人150円)

15:49 島田岡田線「山正電化前」下車 (小山町自治会まで徒歩5分)

通常運賃合計 3,250円 無料デーなら 0円

3,250円
お得！

ポイント

- バスに乗って遊びにいけない子どもは大満足。
- 自分もデマンドタクシーやバスに初めて乗ったけど、意外と便利な使い方ができた。
- ママ友から子供が大きくなってくると送り迎え地獄って聞いてたけど、早いうちにバスの乗り方を覚えれば、自分で行ってくれそう。
- 通常運賃3,250円が無料デーなら全て無料になるなんて！

観光に

Profile 大橋 渡 (オオハシワタル) / 島 美波 (シマ ミナミ)

- 男性:高松市在住/29歳/女性:坂出市在住/28歳
- 普段は自動車だから、公共交通は特別感♡



きれいな景色を見たり、おいしいものを食べたり、おしゃれなカフェに行ったりが好き。

7:50 坂出駅集合

7:55 瀬戸大橋線「坂出駅」バス停乗車 瀬戸大橋線乗車 (大人700円)

瀬戸内海を眺めながら、三島 (与島・岩黒・檀石) を経由して児島へ



坂出に住んでいるけど、島には初上陸。とてもきれい！

なにこれ!?高速度道路の上で降りちゃった。周り山だし、どこに連れていかれるの…。

8:47 瀬戸大橋線「鷺羽山北」バス停下車

下津井の港エリアを散策 朝食は「下津井とれとれ鮮魚市」(タコが有名)

徒歩 25分



むかし下津井回船問屋も素敵でした。

徒歩 20分

「名曲喫茶 時の回廊」でコーヒー



こだわりのドリンクと名曲に浸る穏やかな時間

徒歩 10分

12:02 下電バス下津井循環線「大島南」乗車 下電バス下津井循環線 (大人290円)

12:14 下電バス下津井循環線「倉敷市立児島市民病院」バス停下車

(「児島市民交流センター前」バス停で降りても便利)

児島の市街地散策



お気に入りのシーンを探したり、歴史に触れたり充実した児島時間。

徒歩 15分

17:06 JR児島駅で乗車 JR瀬戸大橋線 (大人640円)

徒歩 5分

17:20 JR坂出駅 下車

息いでいたらJRも便利。

通常運賃合計 3,260円 無料デーなら 1,860円

1,400円
お得！

ポイント

- 近いくて意外と行かない児島、歩いて楽しい児島は、高速道路で行くより公共交通なら安くて行きやすい。
- 無料デー実施日なら、琴平バス瀬戸大橋線の運賃は無料！
- 島で降りてみるのも楽しい！(詳細はP2の瀬戸大橋線特集へ)



神奈川県から来ました。瀬戸内国際芸術祭をきっかけに香川県へ通うようになり、太平洋とは違う瀬戸内の多島美が大好きになりました。今回、瀬戸大橋を渡る路線バスがあると知り、坂出から児島まで初めて乗車しました。高い座席から眺める海と島々は想像以上に美しく、鉄道や高速道路からの景色とはまた違った感動がありました。さらに島の中でバスで行けることも新鮮で、遠回りして時間をかけたことで移動そのものが旅の楽しさになりました！

坂出エリアの公共交通

公共交通とは、誰もが一定の運賃を支払うことで利用できる移動手段を指します。運行には安全や信頼性を担保するための法律上の規制があり、認可を受けたものだけが走ることができます。だからこそ、バスをはじめとした公共交通の運行の背景には、運転手だけでなく多くの人の支えがあります。

ここでは、坂出エリアで利用できる代表的な公共交通と、それぞれの特徴をご紹介します。

鉄道



専用の線路を走り、駅で乗降します。県外や市を越える広域移動に適しており、通勤や通学の基盤にもなっています。

特徴

高速で安定した大量輸送が可能で、遠距離の移動を支える幹線交通です。ほとんど時間通りに運行します。一方で、整備や維持に大きな費用がかかり、新たな路線や駅を簡単に増やすことはできません。

いつも通勤で利用しています。自動車通勤だと渋滞もあるけど、電車だと時間通りに着くし、読書も楽しめるので便利です。



路線バス

(乗合バス)



決められた経路を走り、バス停で乗降します。市内や近隣エリアでの移動に幅広く利用されています。

特徴

一度に多くの人が利用でき、予約不要で気軽に乗れる身近な交通手段です。道路状況により遅れることもありますが、比較的 시간通りに運行します。鉄道が不便なまちにとって、生活や観光のための移動の要になります。が決まった経路を通る必要があり、バスが通れる経路上にしかバス停は設定できません。利用者がいなくても運行するため、ある程度まとまった需要が見込める地域での運行に適しています。

家から学校まで遠くて、自転車で行くにはしんどいので、路線バスを使って通学しています。自転車のように雨風を心配しなくて乗れるし、乗っている間は勉強したり、一緒に乗る友達とおしゃべりしたりできるので有意義に過ごせます。



デマンドタクシー

(乗合タクシー)



予約に応じて運行する仕組みで、バスとタクシーの中間的な位置づけです。坂出市内ではエリアごとに運行時間や乗降場所が決まっています。

特徴

利用には予約が必要で、決められた時間帯に、決められた運行区域を面的に運行します。予約のあった乗降場所のみで停車し、経路は決まっていないので、幹線道路に面していない集落や需要の少ない集落などにも細かく乗降場所を設定することが可能です。同時に複数の人が予約した場合、立ち寄る乗降場所が多くなるため、出発・到着時間が前後することがあります。乗合交通になるので、タクシーと異なり運賃は路線バスと同じ水準で安価に利用できます。主に路線バスサービスが行き届かない、路線バスの利用に不向きな地域で運行しています。

予約しないといけないのは面倒だけど、バスが通れない狭い道にある近所の集会所から利用できるのも、私にとっては便利です。タクシー車両で乗り合うので、いつも同じ時間帯に利用すると友達になりました。



タクシー

(乗用タクシー)

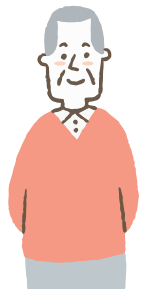


個々のニーズに応じて、ドアツードアで運行します。市内には複数の事業者があり、通院や買い物、飲み会帰り、観光などで幅広く利用されています。

特徴

希望する時間や場所に直接移動できる自由度が魅力です。個々のニーズに対応するため、乗合交通と比べて運賃は割高で需要集中時には利用できない場合もありますが、路線バスが運行していない時間帯や急な移動など柔軟さが求められる場面で頼れる存在です。

家からバス停が遠いので、時々利用します。行きは健康のために歩いてバス停まで行って路線バス利用。帰りは疲れているし、買い物の荷物もあるので、タクシー利用。など、目的に応じて使い分けしています。若い頃は飲み会帰りにもよく利用しました。



路線バスの乗り方

路線バスは地域の移動を支える身近な存在ですが、利用する機会が少ないと戸惑うこともあります。乗車から降車までの流れは決まっていて、基本を押さえておけば安心です。

1. 行き先を確認して乗車する
2. 整理券を取る
3. 降車ボタンを押す
4. 運賃表示板で運賃を確認
5. 整理券と運賃を運賃箱へ入れる



前面表示には終点・主な停留所が出ています。乗車は後方ドア、降車は前方ドアが基本です。



後方ドア付近の発券機から整理券を取ります。番号が運賃計算に使われます。



目的の停留所の案内が流れたら、近くの降車ボタンを押します。



路線をゾーン分けし、初乗り200円、ゾーンを跨ぐごとに100円加算される、100円単位でわかりやすい運賃設定です。

車内前方の運賃表示板で、整理券番号と照合して運賃を確認します。



運転席横の運賃箱に、整理券とちょうどの運賃を一緒に入れて降車します。小銭がなければ、両替機で両替します。

運賃支払いはキャッシュレス決済 TicketQRが便利でお得

乗車時と降車時にQRコードをかざすだけで決済できるTicketQRを利用すれば、小銭不要で、運賃も自動で判断できるため、運賃表示の確認も不要。現金支払い時の上記②④⑤が簡略化でき、スムーズに乗降できます。詳しくは、P7をご覧ください。

デマンドタクシーの利用方法

1. 予約する
2. 乗車する
3. 運賃を支払う

利用したい便と区間を、時刻表の出発目安時刻の1時間前までに予約

指定された時間に、予約した乗降場所待ちます。

予約した区間を乗車し、運賃を支払う

※1便の定員は8名まで。定員を超える予約は受付できません場合があります。

利用方法等詳細はこちら



公共交通が地域にもたらすメリット

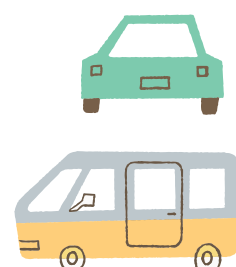
自動車だけでは滞る生活。皆さんの暮らしを支える公共交通

ふだん公共交通をまったく利用しない方も多く、バスがどこをいつ運行しているのか、使い方が分かりづらいという声は珍しくありません。日常の移動で自動車は時間や行き先の自由度が高く、確かに便利です。それでも、公共交通が地域からなくなってしまうらどうか？一度立ち止まって考えてみませんか。



自動車と公共交通、それぞれの特徴

自動車は、自宅から目的地まで直接行けて、出発・帰宅の時間も一日中自由、荷物も運べます。利用の都度に費用は発生しません。一方で、車両の購入費や維持費、ガソリン代が必要で、行き先に駐車場があることが前提になります。長時間の運転は疲労も伴います。電車・バスは、運転免許が不要で運転する負担がなく、乗車中にスマホでの連絡や読書ができ、お酒を飲んだ日でも帰れます。一般に事故リスクが低い点も利点です。ただし、経路は決まっており目的地へ直接行けるとは限りません。住まいの近くに駅や停留所がない場合もあり、時刻表に合わせるため待ち時間や乗り換えが生じ、荷物は多く運べません。毎回運賃がかかり、混雑などで必ずしも快適とは限りません。それでは実は、みなさんにとって必要なものです。



もし地域から電車やバスが消えたら…困るのは運転できない人だけでしょうか？

「バスは高齢者のためのもの」と思っていないですか。

地域から公共交通がなくなれば不便になるのは高齢者だけではなく、車を運転できる人も含め、あらゆる世代の暮らしに影響が及びます。

免許を返納した高齢者 (Aさん)



スーパーは家から徒歩圏内にありますが、多く買うと帰り道が重く大変で、冷凍品は溶ける心配があります。通院は家族による送迎ですが、遊びに行く場合は送迎を頼みにくく、外出頻度が下がります。

自転車通学の高校生 (Bさん)



通学先は自転車で行ける近所に限定されてしまいます。保護者に送迎を頼めない時間帯は自由に出かけにくく、活動範囲が狭まります。

県外に進学した大学生 (Cさん)



地元で働きたい気持ちがあっても、車を買う資金がない時期は「通勤に車が必要」な地元就職が難しく、戻りたくても戻れない状況が生まれます。

車で通勤する会社員 (Dさん)



公共交通が担っていた大量輸送が失われると、通勤が自動車へ集中し、道路の飽和で渋滞が増加、所要時間が長くなります。

忙しい主婦 (Eさん)



朝は子どもの通学、昼は両親の通院、夕方はお孫さんの下校、夜は飲酒を楽しんで家族のお迎え。送迎が連続し、一日の可処分時間が大きく圧迫されます。

社会にとってのメリット

公共交通が地域に存在することは、単に交通手段があるということだけではなく、渋滞解消、環境負荷の低減、交通安全の向上、歩く距離が増えることによる健康面の効果(結果として医療費・社会保障費の抑制)などにも寄与します。さらに、運転できない人が外出することで消費を生み、地域の活性化にもつながります。「運転できない人でも住みやすい地域にすること」は、運転できる人にとっても住みやすいまちづくりにつながります。



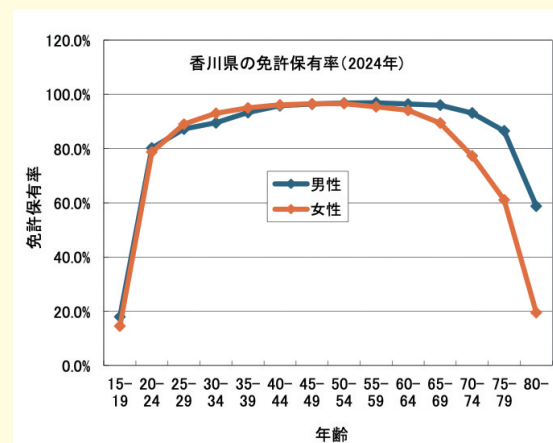
自分たちにとってのメリット

子どもにとっては、送迎がなくても自分で移動できる自由度が高まり、公共空間でのルールを学ぶ機会にもなります。小さな子どもは乗り物が好きなことも多く、適切な機会を用意することが将来の自立につながります。大人にとってもケガや病気で突然運転できなくなる時期があるかもしれませんし、「自分で運転しなくても良い」ということは思った以上に快適なものです。時間を有意義に使える上、お酒を飲んでも利用できます。さらに、高齢者や子どもが公共交通を使えるようになることで、家族の送迎負担も減ります。「高齢になって運転免許証を返納したらバスを利用したい」と思っている人も多いと思います。健康な人でさえ「不便で面倒」と感じる公共交通を、体力や認知機能が衰え始めた免許返納後になって、いきなり使いこなせるのでしょうか。多くの場合は難しく、利用をあきらめることで外出そのものが減り、生活の楽しみや健康にも影響が及ぶ恐れがあります。だからこそ、自分で運転できる元気なうちから公共交通に慣れておくことが大切です。習慣として使っていれば、免許を返納した後も安心して利用でき、外出の自由を保ち続けられます。

「毎日」ではなくても、時々でも使ってみませんか？

自動車は便利な移動手段ですが、それだけに依存し続けると長期的には社会全体に影響が出る可能性があります。地域の公共交通サービスの縮小、通勤時間の増加を招く渋滞、環境負荷の上昇といったデメリットは、暮らしの質を下げかねません。また、その不利益は社会だけでなく自分自身にも返ってきます。家族の送迎に多くの時間を割かれる、歩く機会が減って健康リスクが高まる、免許を手放した瞬間に外出の自由を失う。こうした課題は誰にでも起こり得ます。だからこそ、ふだんは自動車を使いながらも、必要に応じて公共交通を選ぶことが大切です。「今日はバスで行ってみよう」と選択肢を持つだけで、社会にとっても、自分にとっても持続可能で安心な未来をつくることにつながります。また、年に数回でも利用する人が増えれば、公共交通の確保維持に大きくつながります。

図:香川県の免許保有率(2024年)



※20～60代では9割以上が免許を保有している一方、若年層と高齢層で大きく低下している。

公共交通は、特別な人たちのためのものではなく、私たちみんなの暮らしを支える大切な仕組みです。「運転できないとなったら公共交通を使えばいい」「免許を返納しやすくなるためにもっと便利にすべきだ」といった声をよく聞きます。でも、バスや電車を使うには、ある程度元気で、自分の足で歩けることが前提です。むしろ、公共交通を使えなくなつたときこそ、自動車が助けを支える手段になるのです。「今は車を止めるから、公共交通は高齢者のために必要」と考える方も多くありますが、でも今の高齢者の多くは若い頃に免許を持たず、公共交通を使い慣れてきた世代です。だからこそ、今も利用できているのであつて、一年を取れば自然と公共交通を使うようになるのは限りません。一方で、免許を持たない若い世代にとって、公共交通は日々の生活に欠かせない存在です。中高生の通学や部活動の送迎などで、保護者が疲れてしまつたという声も聞かれます。私たちの調査では、「共働きで送迎が難しく、子どもを持つことをためらう」という意見もありました。公共交通は、高齢者だけでなく、若者や子育て世代にとっても必要不可欠なのです。地方では、自動車の普及により公共交通の利用者が減り、運賃収入だけでは運営が難しくなつていいます。便数が減ることでさらに利用者が減るといふ悪循環が進んでいます。この流れを止めるためには、車を使っている人も「たまにはバスや電車を使つてみる」「同行を支える仕組みに参加する」といったことが大切です。公共交通は、利用する人だけのものではなく、地域全体で支えていくものなのです。最近の国の調査では、「地方は公共交通が不便だから」という理由で、首都圏での就職を選ぶ若者が多いことがわかりました。公共交通の利便性を高めることは、人口減少や少子化の対策にもつながるかもしれません。公共交通は、誰かのためではなく、みんなのためのもの。そんな意識が広がっていけば、地域の未来を支える力になるはず

公共交通は“誰かのため”じゃなく、みんなのもの



香川高等専門学校 建設環境工学科 宮崎 耕輔 教授